

NEXT INFO ③

第1次出展申込締切迫る！

早期申込でブース位置選択の優先権が得られます

世界基準のフォトコンペがもたらすこと

社会的ステイタスアップへ!!

まだ構想の段階ですが、PHOTONEXT で実現させたい企画があります。以前にも本誌で触れたことのある「国際コンペの自国開催」です。

究極は、米国・ラスベガスで開催されている世界で最も権威ある国際コンペティション「WPPI」を日本で開くことですが、これは簡単に移行できる話ではありません。それならば「PHOTONEXT 版 WPPI」を開催してみよう、と考えてみました。

実は筆者は WPPI の現場に行ったことがないので、どこまで再現できるかはわかりかねますが、具体的にどういうことを行いたいのかを説明する前に、何故こうした企画を立ち上げたいのか、まずはそこについて触れましょう。日本には、数々のフォトコンテストがあります。2019 年までは PHOTONEXT の併載イベントとして「ウェディングフォト・アワード」を実施していました。第1回目はプロと一般の2部門を設けていましたが、2回目からはプロのみに絞りました。

1 番の目的は、フォトグラファーとして活動する方々の「社会的ステイタスアップ」でした。その考えに基づき、金賞・銀賞・銅賞というランク分けはせず、金賞のみとし、かつ 30 点選出するという、一般的なコンテストとは違ったスタイルにしました。



国際コンペで好成績をおさめるフォトグラファーをはじめ、権威ある立場の審査員による応募作品の公開ジャッジとともに、評価された写真をギャラリーに展示するという企画を立ち上げる予定（写真は前回の会場ギャラリーコーナー）

審査員には、写真業界から写真家・立木義浩氏、ブライダル業界からファッションデザイナー・桂由美氏を起用し、10 年にわたり続けてきました。賞を獲ったフォトグラファーのなかには、賞状や賞状盾をスタジオ内に飾ったり、プレゼンテーションの際に活用するなど、アピールポイントに挙げている方もいました。

作品審査を公開！白熱のジャッジは必聴レベル!!

一般的なコンテストは、作品の応募締切後、審査が行われますが、WPPI ではジャッジが公開されます。これが見どころの1つとなっており、過去受賞者をはじめ、名だたる審査員による作品の評価

が繰り広げられます。

面白いのは、審査員同士で意見がぶつかり合うと徹底討論され、最初に下された評価が覆る可能性もあること。審査員のなかで「あなたが下した評価はおかしい!」となれば、その根拠を示しながら論点を指摘します。最終的には多数決で点数が決まりますが、その白熱したジャッジは聞いているだけでも参考になります。

世界中のさまざまな実力者が、作品をあらゆる視点で評価し、ときに言い争います。そんなコンテスト、日本ではほとんど見られません。最終的に選ばれた作品の論評が発表されることはあっても、審査の過程をリアル（現在進行形）で公にされることに新鮮さを感じるではないでしょうか。

こうした公開ジャッジに加え、世界レベルの作品作りを行うためのセミナー関連プログラムもたっぷり用意。さらなるステップアップへのきっかけになれば、と考えています。

高評価作品をプリント展示協賛メーカー募集!!

実施にあたっては、以下のレギュレーションを設ける予定です。

審査員には、業界および業界外のさまざまな立場の権威者を起用。ポートレートやウェディングに加えて学生部門も設けることで、プロ以外にも応募対象として広がります。作品はデータで専用サイトより応募。出品数が多数に上る場合は、あらかじめ審査員によって、ある程度絞り込み、ノミネート作品を PHOTONEXT の会期にて発表します。

ジャッジは会期初日に実施し、WPPI と同じく公開審査を行い、クリティーク（作品批評）の場を設けます。そして会期2日目には、選ばれた作品をギャラリーにて一堂に展示します。

主催者としては、プリントにした作品をギャラリー展示したいのですが、それには協賛企業のご協力が不可欠になってきます。詳細は、あらためてご案内いたしますが、賞品も含めて是非ともご検討いただき、業界をあげて盛り上げていきましょう!

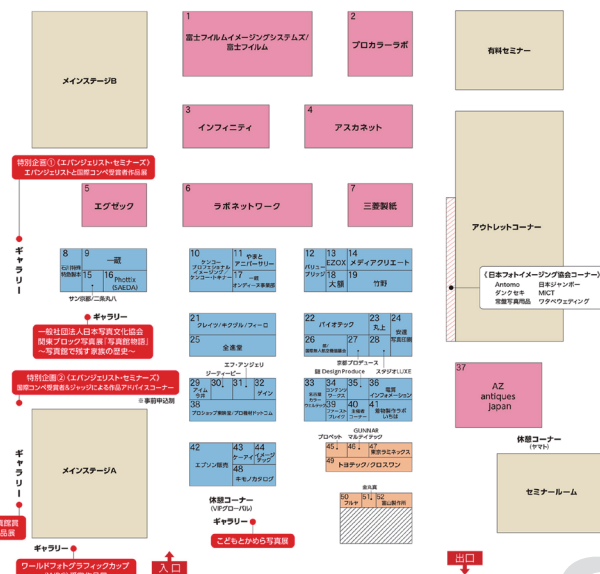
ブース抽選の優先権 Get!!

1 月末までのお申し込みがオススメです!

■ PHOTONEXT2022 の出展申し込み締切は、第 1 次が 1 月 31 日 (月)、最終が 2 月 28 日 (月) です。

■ 「小間数がなかなか確定しない」等の理由で、締切間近まで検討される出展社もありますが、第 1 次までにお申し込みいただくと、小間割抽選会時に同一小間同士の抽選で優先権が得られます。角小間、セミナー・アウトレット等のコーナー付近、会場出入口付近などの人気スポットは、早々に埋まりますので、ブース位置をいち早く確保することをご希望の場合は、1 月末までのお申し込みをオススメします。

■ 出展申し込み書には小間数を記載いただきますが、今回本誌をご覧になっている出展検討各社様に特別なお知らせ! 小間数が未定でも 1 月末までにお申し込み書をお送りいただければ「第 1 次」扱いといたします (2 月末の最終締切までに小間数を確定してください)。出展お申し込み書は、公式サイト (www.photonext.jp) からダウンロード可能です。メール (info@photonext.jp) または FAX (03-6302-0802) で、お早めに申し込みください。



上は 2021 会場レイアウト

女性来場者が感受する最新のトレンドは?

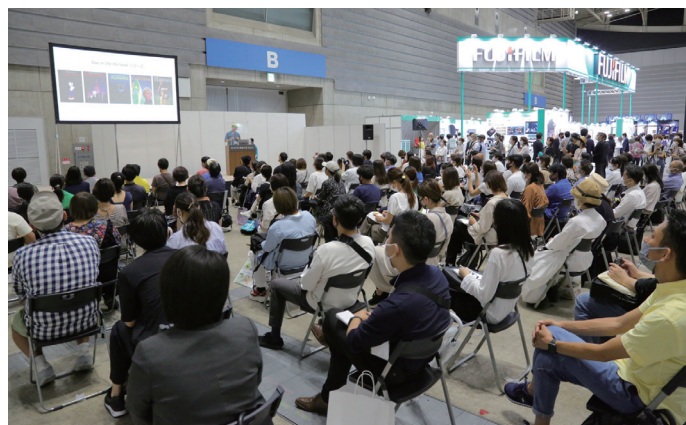
女性層は、PHOTONEXT 来場者数全体の約 3 割を占めるまでに増加しました。初開催の 2010 年は 1 割程度だったことを考えると、10 年強でいかに増えたかがうかがえます。

なぜ、これほどまでに伸びているのでしょうか。その要因の 1 つに「出張撮影」需要の拡大が挙げられます。マッチングサイトの立ち上げが相次ぎ、一説には国内だけで 10 数ものサイトが稼働していると見られています。

そんな出張撮影のサービスメニューの筆頭に挙げられるのが「ニューボーンフォト」です。海

外をはじめ第一線で活躍するフォトグラファーから助産師まで、あらゆるスペシャリストがオンラインを中心に展開する「ニューボーンフォトカレッジ」の受講者の 9 割以上が女性で占められています。さまざまな仕事を経て、あるいは子育ての傍ら、「撮影の仕事に携わりたい」と考え、マッチングサイトの台頭などにより、誰でも気軽に始められる状況となっていることが、女性層の活動を後押ししています。我が子を撮っているなかで、「家族写真」の撮影に興味を持ち始めるというケースも少なくありません。

このように女性層が増えているなかで「選ばれるフォトグラファー」となるためには「差別化



2022 年にも充実したセミナープログラムをお届け!

していくことが求められます。近年では、自宅の一室を「おうちスタジオ」として改装し、出張以外の撮影に注力する動きも目立ちます。さらにアルバムをはじめ「プリント」商品の拡充にも力を入れるなど、新たな価値提案も散見されます。

そうした女性層が、最新トレンドを掴むために PHOTONEXT で情報収集する動きが年々活発化しています。こうした流れが、女性来場者の拡大へとつながっているのです。

そこで本年の PHOTONEXT では、出張からスタジオまで、ブランディングを確立しながら多方面で活躍する女性フォトグラファーにスポットを当てたセミナープログラムを企画。女性層は

もちろん、女性スタッフを抱えるスタジオ経営者にとっても必聴の内容が盛りだくさんです。ぜひご注目ください。

そのほかにも 2022 年は、コロナ禍で注目を集めている「フォトウェディング」のほか、「家族写真」や「プリントビジネス」などといったコアビジネスの実態から、「ドローン撮影」「動画サービス」など新たな需要拡大につながる内容まで、さまざまな最新トピックをクローズアップ。ご期待ください!

最新情報をお届け! ご登録ください!!
《フォトネクスト
公式 LINE アカウント》



2021 はコロナ禍でも大勢の来場者が集まり、女性層も多く見られました。

NEXT INFO

次号予告

2022 の注目ポイント一挙公開

- ①メインステージプログラム
- ②新規出展ブース
- ③会場構成、ほか

「NEXT INFO」バックナンバーは、公式サイトからダウンロードしてご覧いただけます!!



《PHOTONEXT 情報満載の月刊誌》

撮影ビジネスの現場からいまを伝える情報誌「スタジオ NOW」(写真は2022年1月号)。会期本番に向けて、見どころやお得な情報をたっぷり掲載。最新トレンドも含め、大々的に発信いたします!



フォトグラファーズ & フォトビジネスフェア

2022年6月7日(火)～8日(水)

パシフィコ横浜 B ホール

www.photonext.jp

主催: 株式会社プロメディア
主催団体: 写真感光材料工業会
日本フォトイメージング協会
一般社団法人日本写真映像用品工業会
特別協賛: 日本営業写真機材協会

主要スケジュール

※締切日および説明会の日程が変更になる可能性があります

- ◎第1次申し込み締め切り: 1月31日(月)
- ◎最終申し込み締め切り: 2月28日(月)
- ◎出展社説明会 / 小間割抽選会: 3月18日(金)
- ◎搬入日: 6月6日(月)
- ◎会期: 6月7日(火)～8日(水)

「PHOTONEXT オンライン」協賛のお願い

・PHOTONEXT 来場対象者へ最新情報をお届けするオンライン企画に、パネリストとして参加しませんか? 「PHOTONEXT オンライン」は、自社製品やサービスをアピールいただく絶好の機会です。オンライン特典や今後実施予定のキャンペーンに加え、2022年にブース出展をご検討いただいておりますら、出展内容とともにPRする場としてご活用いただけます。

・本イベントは事前登録制で、参加者には申し込み時に名前やメールアドレス等を記載いただいております。その情報を一覧にしてお渡しいたしますので、今後の販促にご利用いただけます。また、本イベントの開催中にチャットで寄せられた内容もテキストデータにてご提供いたしますので、本番中に対応できない場合でも、終了後に参加者へコンタクトを取ることができます。

・当日のライブ内容は収録し、参加者へお届けするとともに、当日ご覧にならなかった方々のために、PHOTONEXT 公式ホームページおよびSNSにて、「PHOTONEXT オンライン YouTube チャンネル」をご案内。またプロメディア発行の月刊誌「スタジオ NOW」にも記事掲載させていただきますので、終了後も広くアピールすることが可能です。

・出演時間は1社様につき30分間、出演料は88,000円(2021年・2022年の出展社は無料)。詳細およびお申し込みは、info@photonext.jp まで。

オンラインによる情報発信は継続して実施!
斬新な企画・アイデアもお待ちしております!!

NEXT INFO ③

- 本冊子は PHOTONEXT 関連トピックをまとめた通信誌です。
- セミナープログラムの骨子が固まってきました。前回好評だったステージのさらなる進化版から、新たな試みまで、一層充実した内容になる見込みです。今後、

順次公式サイトやSNS等でお知らせいたしますので、お楽しみに!

● PHOTONEXT に関するお問い合わせは主催事務局まで (TEL: 03-6302-0801、FAX: 03-6302-0802、メール: info@photonext.jp)。